

済生会川口総合病院 血管外科研修内容

概略

基本3年にてのプログラムであるが、入職時の経験・診療状況にて検討を加える。

指導医の指導のもと、担当症例をもつ主治医となる。

2年間にて血管外科全般を履修し3年目には将来設定にそった研修を行う。

3カ月毎に術技の修達度の確認を行う。

半年毎に筆記試験にて知識の確認を行う。

周術期・動脈・静脈・リンパ疾患について毎週、行われるカンファレンスにて希望及び問題の提起を行い、随時、修正を行う。

各論

1年目

総論 : 解剖・病態 (血行動態・止血「凝固」・動脈・炎症「血管炎・蜂窩織炎」・感染・動脈硬化) の知識習得

検査 : 身体所見・血管機能検査 (ABI/PWV・SPP)、超音波検査 (下肢静脈・下肢動脈・シャント)、血管画像 (動脈造影・MR・CT、リンパシンチ)、特殊検査 (血管内エコー) の習得

治療 : 一般治療 (生活習慣指導・ストッキング圧迫療法・フットケア指導)、理学療法 (運動療法指導・リンパ浮腫複合的理学療法)、薬物療法 (抗血小板剤・抗凝固剤・血管拡張剤・血栓溶解剤・抗生剤・脂質改善剤・降圧剤) の実施

血管内治療 : 予定治療でのシャント狭窄解除・TASC II 分類 A の動脈治療・静脈瘤レーザー焼灼術

外科治療 : 静脈瘤ストリッピング術、静脈瘤硬化療法、透析用シャント作成、

資格 : 静脈瘤レーザー焼灼実施医

2年目

血管内治療 : シャント閉塞での緊急手術・TASC II 分類 D 以外の動脈治療

外科治療 : 大腿 (膝上) までのバイパス・大腿動脈血栓内膜剥離・血栓除去 (筋膜石灰を含む)
・stage III 以外のリンパ浮腫手術

資格 : リンパ療法士

3年目

将来設定にそった研修

血管外科一般を行う場合、3年目に腹部大動脈瘤手術・下肢遠位バイパス・TASC II 分類 D の血管内治療を習得

資格 : 外科専門医・静脈瘤レーザー焼灼指導医・脈管専門医・血管内治療認定医*3年間終了後申請
心臓血管外科専門医*外部研修を希望に添い行う

診療科	血管外科
学会認定	日本外科学会研修施設 心臓血管外科研修施設（平成 22 年度より） 日本脈管学会研修施設（平成 22 年度より）
特 長	08 年 10 月より新規開設された診療科です。 下肢静脈に対する検査・手術、閉塞性動脈硬化症に対する検査・治療（P T A、手術）などを行い、動脈瘤についてのステントグラフト治療やリンパ浮腫の外科治療などの先端医療施行を予定している。
概 要	血管病変すべての領域（動脈・静脈・リンパ管）の検査・治療を行います。 指導医の元、担当医となり診療に参加してもらいます。 研修終了時には外科専門医・心臓血管外科専門医・脈管専門医の取得を目標にします。
主な症例 （件数） 2013 年実績	下肢静脈瘤・静脈血栓症・閉塞性動脈硬化症・動脈瘤・腎不全に対する ブラットアクセス・リンパ浮腫で、症例数としては 08 年 10 月の新規開設後 の 1 年間で血管内治療等が 240 例程、手術が 420 例程度であったが、症例数 は増加してきている。
研修指導医数	外科学会専門医 / 1 名 外科学会指導医 / 1 名 心臓血管外科専門医 / 1 名 胸部外科学会指導医 / 1 名 脈管専門医 / 1 名 循環器専門医 / 1 名 形成外科専門医 / 1 名 下肢静脈瘤に対するレーザー治療指導医 / 1 名 血管内治療医 / 1 名 腹部ステントグラフト実施医 / 1 名